

日本森林保健学会第1回学術総会

会場：東京農業大学 18号館 1811教室

趣意：

2011年3月11日、私たちは東日本大震災に見舞われました。あらためてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に重ねましてお見舞い申し上げます。

おそらく人類史の中で、先進国として発展した社会における、最も甚大な自然災害であったと思います。この未曾有の出来事の衝撃がさめやらぬこの時期に、当学会として何を見つめ、何を考え、そして実行していくべきか、まだ整理がつきません。

しかしながら、森林と人間の再生を一貫して考え続けることは、破壊された都市や森林および自然環境の復興、衝撃を受けたところやからだの回復、失われたすべてに対する服喪追悼、そして持続可能な社会を創造し未来に繋がっていくこと、これらの事柄に重要な意味を持つものと信じてうたがいません。

ここで私たちは震災後の特別プログラムを準備し、第一回学術総会を開催したいと存じます。皆様のご参加をお待ちしております。

(大会長 上原 巖)

(プログラム)

- 13：00～13：30 大会長挨拶 「日本森林保健学会の意義、森林と人間をみつめて」
東京農業大学教授 上原 巖
- 13：30～15：00 基調講演 「診療所が森林をつくる」
長野県北相木村診療所長 松橋和彦
- 15：00～15：15 質疑応答
- 15：15～15：30 休憩
- 15：30～17：00 学会シンポジウム

テーマ「森と人間 その再生の第一歩、そして次世代へ」

1. こどものために 長野県信越病院小児科医 長谷川京子
 2. 患者さんとの森づくり 北海道植苗病院精神科医 瀧澤紫織
- 全体ディスカッション・本大会からの提案へ

参加費無料

問い合わせ
日本森林保健学会事務局
瀧澤紫織

住所〒059-1365 北海道苫小牧市植苗5-2-2 植苗病院
Fax 0144-58-2564
Email email@forest-humanhealth.com